

さんぽもだより

2014
春号
vol.8

友の会会員の皆さまと記念館を結ぶ会報誌

今年の桜

咲いて
散りゆく
花の美しさ
今年の桜は
妻と見ることは
できなかったが
桜は
妻を守ってくれ
危機を
突破してくれた
二〇〇一年の
桜よ
ありがとう



「重信川の桜」

館長エッセイ

相田みつを美術館での「坂村真民展」に寄せて
潜在的ファン、若者ファンを
掘り起こしたい

真民詩とわたし

恩返しのためにガンバッテいます
前田 修身さん

真民詩を読み解く ⑦

どんどん捨てていった一遍上人のように
「身 軽」

ちょっと手ほどき

特別展「小池邦夫と坂村真民の世界」にちなんで
受け手の心を揺さぶる二人の絵手紙

坂村真民記念館のお知らせ

相田みつを美術館(東京・有楽町)にて
「念ずれば花ひらく
～坂村真民と相田みつをの世界」展を開催します

【第八回】相田みつを美術館での「坂村真民展」に寄せて

潜在的ファン、若者ファンを掘り起こしたい

(一) 昨年の12月12日に私達夫婦は、NHKの「ラジオ深夜便」に出演し、坂村真民の生き方とそこから生れた詩の魅力について話をし、大きな反響をいただきました。

まず、その日の12日の9時過ぎには、坂村真民記念館に山口県、岡山県、香川県から車で駆けつけたご夫婦が3組来館され、問い合わせの電話がひっきりなしにかかってきました。問い合わせの電話はその後一週間くらいは続きました。

その方たちと話をしてみますと、ほとんどの方が、ラジオを聴くまで坂村真民を知らなかった方々であることに驚くとともに、感激しました。

私達のつたない話を聴いただけで、これだけの方が真民に関心を持って、記念館に行ってみようと思ひ、詩集を買ってくださるということは、別の見方をすれば、坂村真民の魅力を知って

もらう機会さえあれば、もつともっと多くの方が、真民ファンになってくださる可能性があるということです。

(二) 今回の相田みつを美術館での「坂村真民展」の開催は、こうした潜在的な真民ファンを掘り起こす絶好の機会だと考えています。

東京を含めた関東一円の人口は、約四千二百六十万人です。この方たちに、何とかして「真民詩の魅力」を発信し、真民ファンになつてもらうこと。この目標に向かつて、私はこれまで培ったあらゆる人的ネットワークを最大限に活用して、「相田みつを美術館での坂村真民展」を宣伝広報しています。

しかし、個人の力には限りがあります。是非ともこの会報をご覧になった方々のご支援とご協力をお願いいたします。東京近郊にお住いの方々に「坂村真民展」を宣伝・広報してください。

さい。どうぞお願いいたします。

(三) もう一つ、相田みつを美術館で「坂村真民展」を開催する大きな意義は、相田みつを美術館の来館者の多くが若い人たちであり、これまでの真民詩の読者層とは異なる人たちにアピールをすることが出来ることです。

坂村真民の詩を、幅広い階層の人たちに読んでもらうためには、若い人たちに真民詩に触れる機会を持つてもらう場が必要です。その場として、昨年の坂村真民記念館での「相田みつを」と坂村真民展」がありました。相田みつをさんを目当てに来場された多くの若い人たちが、真民の詩にも触れ、最後に真民詩集を買って帰っていく姿を見ることが出来ました。東京でも、この若い人たちに「真民詩の魅力」を直接訴えることが出来るのです。

私は、東京の若者に大いに期待して

おります。「どんな小さな花でもいい。自分の花を咲かそう。」という真民から若者へのメッセージを届けたいと思っています。

(四) 最後に、今回の相田みつを美術館での「坂村真民展」の開催は、相田みつを美術館の相田一人館長のご好意と全面的なご協力があつて初めて開催出来るものであり、「相田みつを生誕九十年特別企画展」として位置付けていただき、その意味からもこの「坂村真民展」はどうしても成功させなければなりません。

是非とも、重ねて皆様のご支援とご協力をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



恩返しのためにガンバッテいます

まえだ おさみ
前田 修身さん(79歳)



前田修身さんは吉田高校で真民さんに学んだ。大乘寺での参禅にも同行、「いつも先生の後にくっついていました」という。現在、東京目黒に自宅と事務所を構え、行政書士として外国人の入国・在留・永住と帰化の手続きなどを支援する前田さん。その人生には真民さんの思想が映し出されている。



前田さんはしばしば坂村家の写真を撮った。これは昭和28年ごろに吉田高校教員住宅前で撮影したもの

◆先生のあだ名は「ゲーテ」

吉田高校に入学した私は往復20キロを自転車ですり通学していましたが、真民先生らの推薦で学校のそばに部屋を借りることができました。先生もすぐそばにお住まいでしたので、親しくお付き合いをさせていただきました。

授業で話されるゲーテやリルケに、私たちは目を輝かせて聞き入ったものです。先生はその髪型から「ゲーテ」のあだ名で親しまれていました。

生徒が授業中に居眠りすると、先生は「眠っていてもよい。8000万の毛穴から私の講義を聞いていなさい」と

優しい言葉をかけてくださいました。

大乘寺への参禅も必ず一緒にしました。毎週日曜日の早朝、下駄ばきの先生はご自宅から国安川を左に見て、医王寺下の田んぼ道を足早にお寺に向かいました。私は足がしびれて、なかなか無の境地になれませんでした。が、背筋をピシッと伸ばした先生の座禅作法は実に見事でした。

◆『アジアの路地』に心打たれて

誰もが生活に汲々とするなかで、先生が詩集『六魚庵天国』を出されたときは驚きました。可愛いお嬢さんとおくゆかしい奥様との生活が生き生きと描かれた詩に感激したのはもちろんです。

その後、先生は広島やアジアに目を向けた詩を発表されましたが、私にとつてとりわけインパクトが強かったのは、朝鮮で教壇に立った体験をもとに編まれた詩集『アジアの路地』でした。

私は学校を卒業後、松山、名古屋および東京の各法務局を経て、法務省を最後に行政書士として独立しました。現在の主な仕事は外国人の帰化等のお手伝いです。アジアの人々に向ける真民先生のまなざしが、私

をその道に導いてくださったものと思うのです。

◆すばらしい環境の記念館

私のオフィスにはアジアを中心に、年間30数カ国のお客様がみえられます。「君の仕事は世界を相手にしているから偉い」と褒めてくださった先生のご恩に報いるためにも、多少なりともお役に立つことが私の使命と思い、仕事に励んでいます。

このたび、砥部の皆さんの愛情が形になったような素晴らしい記念館ができました。苦しみや悩みを抱えた人は、ぜひ記念館に足を運んでほしいと思います。きっと生きる力が湧いてくることでしょう。私も晩年を過ごすには穏やかな砥部がいいなあと思う今日この頃です。また、東京で今春開催される展覧会を今から心待ちにしております。



前田さんの書かれた『帰化申請マニュアル』『外国人の入国・在留手続』(共著)

どんどん捨てていった一遍上人のように

「身軽」

身軽
何が一番いいか
身軽なのか
一番いい
春の鳥のきくに
いきいきと
夏風のきくに
さうさうと
秋の木の葉のきくに
ひらひらと
冬の星のきくに
さえずりと
鳩春二月民

今回も一遍上人と真民との深いつながりを感じさせる詩をご紹介します。

この詩は、昭和59年、真民が75歳の時に作られたものです。まさに真民が一番敬愛した一遍上人の生き方を詠った詩であり、「人間としてどう生きるか」を生涯を通して求め続けた真民が、一遍上人と出会い、75歳にして到達した「真民流の生き方」を詠った詩であるとも言えます。

50歳の時に、道後の宝厳寺で「遍上人と運命的な出会いをした真民は、この世の師である杉村春苔尼先生とともに、もう一人の大きな師とめぐり会えたのです。

一遍上人の生き方と思想について、真民は随筆集のなかで次のように書いています。

「わたくしが一遍に強く心ひかれるのはこの「捨」である。むろん捨聖一遍といわれただけ、当時の人も、この捨に一番ひかれたのちがいない。日本の開教の祖師たちのなかで、一番釈尊に近い生き方をしたのは、一遍その人ではなからうか。

河野家という家も捨て、妻も子も捨て、破れ衣に素足で日本国中を称名念仏し歩いた僧は、一遍一人ではなからうか。すべてを捨て切った僧は一遍よりほかに求めることができない。「捨」こそ一遍の生命であり一遍その人の光である。(中略)

わたしは酉年生まれの子もあって、重いものは性に合わないようである。短歌から詩に転じたのも、短歌の重さが性に合っていなかったからであろう。わたしは、分譲建て売りの小さな軽い家に住んでいるが、このような住まいがわたしには「一番適している。」(随筆集「念ずれば花ひらく」より)

「今までの仏教は女を男より下に見たが、一遍は尼僧衆団を連れての行脚遊行であつた。それまで女は救われ難い者とされていたのを、彼は何の差別もせず、救いの手を差しのべている。この願行の美しさは、仏教史にも

かつてないものがある。

わたしの詩集にはよく「願い」という詩が出てくる。これはわたしの詩集の特色かもしれない。念願詩誌「詩国」を出しているのも、一遍の願を承け継いでゆこうと念じているからである。」(随筆集「愛の道しるべ」より)

この詩の中に出てくる「春の鳥」「夏の風」「秋の木の葉」「冬の星」というのは、どれも、真民が好きなものです。

人間として生きていく上で、本当に必要なものはそんなに多くありません。要らないと思うものはどんどん脱ぎ、また捨てることによって「身軽になる」ということが、真民流の生き方でした。

この「身軽になる」という考え方こそ、一遍上人の生き方そのもののなのです。春の鳥や、夏の風や、秋の木の葉や、冬の星のように、ただ自分が生きるだけに必要なものを身に着けて、要らないものをどんどん脱ぎ捨てることによって「身軽になる」ということが、坂村真民が求め続けた生き方でした。

ちょっと
手ほどき

特別展「小池邦夫と坂村真民の世界」展にちなんで

受け手の心を揺さぶる 二人の絵手紙

二人の交流は、小池邦夫さんが真民詩に感動して、手紙を出したことから始まりました。独自の世界を築いたという以上に、生き方や感性においても共通点の多い二人。特別展にちなんだ話を少しばかりご紹介しましょう。



小池邦夫

がむしやらに本物を
吸収していった小池さん

小池さんの絵手紙は、どれも気迫に満ちています。それは、彼の生き方そのものだといっても過言ではないでしょう。芸術分野で身を立たいと思っていた小池さんは、対象を絵手紙に定めてからというものの、本を読み、

人に会い、講演を聴き、当世一流の文化人や優れた芸術に全身全霊でぶつかって、その真髓を貪欲に吸収してきました。

彼にとつて、唯一絶対の尺度は、「感動」。絵でも書でも随筆でも、ジャンルを問わず、感動したものを模写したり、感動を与えてくれた見ず知らず

の当人に、思いの丈をしたためた絵手紙を送ったりしました。

鬼気迫る小池さんの絵手紙は、多くの人をふりむかせ、ファンを増やしていきます。絵と書と言葉の三者を融合した絵手紙を、一つの芸術として確立させた背景には、こうした激しい修業の日々がありました。

「初々しくて、きらめくような」
真民さんのペン字

今回の特別展では、今まであまり目にする事のなかった、真民さんの手紙も展示されます。極めてフライベートな手紙は、真民さんの生の声や暮らしがわかって、興味深いものといえましょう。

真民さんは、自分の字に「コンプレックス」を持っていましたが、それを払拭したのは画家の中川一政でした。

「自分の字を書けばいいのだ。字には上手下手はない。生きた字を書けばいいんだという、(中川)一政流の字がわたしを奮起させた。それ以来コンプレックスは退散した。…借り物ではない、わたし自身の字が、生まれるようになったのである。」※

中川一政は小池さんの師でした。自在に遊び、奔放で力強いその書は、

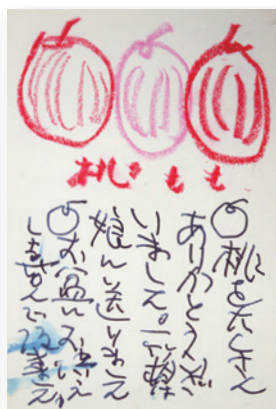
二人の憧憬でありました。

小池さんは、真民さんからもらった手紙を見て、次のように書いています。「そのインクの渋く澄んだ色の美しさよ。」(平成7年愛媛新聞「四季録」)「真民さんの」ペン字はね、とても初々しくて、現代のペン字の中でもちよつときらめくような何かを感じましたね。」(平成13年5月号「月刊絵手紙」インタビュ)

インクの味わい深さを感じる、小池さんの繊細さにも感服しませんか。澄みきった二つの魂の、相寄る姿が見られる特別展。ぜひ足を運んで実感してください。



坂村真民



※坂村真民著「遊筆遊心」より

相田みつを生誕90年特別企画展

「念ずれば花ひらく～坂村真民と相田みつをの世界」展

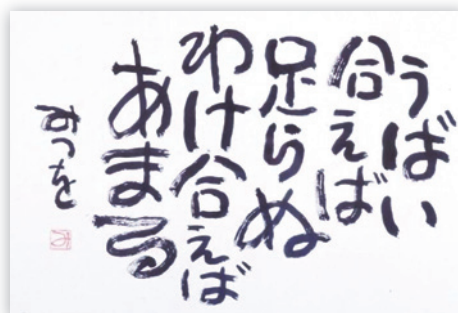
期 間 平成26年 3月4日(火)～6月8日(日)

場 所 相田みつを美術館
(東京・有楽町・国際フォーラムB1)

坂村真民の代表的な詩墨作品を30点以上展示します。
共に仏教の世界を深く学び、仏の教えを根底に詩を書き続けた二人の「詩墨作品」を同時に味わうことが出来る貴重な展示です。
どうぞ皆様お誘い合わせのうえご来場くださいますようお願いいたします。

～相田みつを美術館に館長夫妻が来館する日～

- 3月 4日(火)終日
- 3月29日(土)午後
- 3月30日(日)終日
- 4月26日(土)午後
- 4月27日(日)終日
- 6月 8日(日)終日



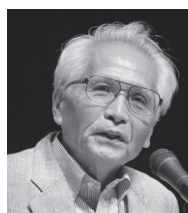
坂村真民記念館開館2周年記念特別展

「小池邦夫と坂村真民の世界」展

期 間 平成26年 3月11日(火)～6月1日(日)

場 所 坂村真民記念館

「絵手紙文化」を全国に発信し続けている、書家小池邦夫の、郷里・愛媛での初めての本格的な作品展が、小池が慕い、尊敬した坂村真民とのコラボ展という形で実現しました。



「小池邦夫氏講演会」

入場無料

企画展半券をご提示ください。

日 時 平成26年 5月10日(土) 13時～14時

場 所 砥部町商工会館(当記念館隣)

FM愛媛 毎週土曜日 午前8時55分～9時00分 「しんみんさんの詩」放送中

FM愛媛では、毎週土曜の朝、真民さんの詩を一つずつ紹介する5分間番組を放送しています。

詩の朗読は清水小百合さん。解説は西澤孝一館長。「真民さんの詩の紹介とともに、その詩が生まれた時代背

景や、真民さんの心情を、西澤館長にわかりやすく解説してもらっていますので、短い時間ですが、心に残る番組になっています」というのは石田伸浩プロデューサー。およそ1年前から始まったミニ番組。耳を傾けてはいかがでしょうか。

※FM愛媛(松山79.7MHz 川之江80.0MHz 新居浜89.2MHz 今治80.6MHz 大洲78.8MHz 八幡浜77.6MHz 城川80.2MHz 宇和島82.1MHz)



経営理念

最大の会社より最良の会社
人さまに喜んで頂く仕事と自分づくりをする

[パチンコ店経営]

株式会社 宣翔物産

〒812-0857 福岡市博多区西月隈3-6-17 Tel 092-475-1151

[関連グループ会社]

株式会社 クリオ ホテルクリオコート博多

〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街5-3 Tel 092-472-1111



昨年、第62回神宮式年遷宮がなされた。

使用された内宮の棟持柱は、宇治橋の内側、外宮の棟持柱は外側の鳥居として20年間用いられます。

さらに、内側の鳥居は、旧東海道の関の追分へ、外側の鳥居は桑名の七里の渡し場に移築され、計60年間に渡って使用されます。

『循環』という言葉の重みを感じながら、2周年記念特別展の真民先生の書を拝見したい。

南木曽木材産業株式会社

〒399-5302 長野県木曽郡南木曽町吾妻1187 代表取締役 柴原 薫
TEL 0264-57-4000 FAX 0264-57-2006 <http://www.nagiso.co.jp/> メール kao@nagiso.co.jp

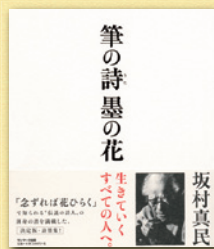
サラリ
サラリと
流してゆかん
川の如く
サラリと
忘れてゆかん
風の如く
サラリと
生きてゆかん
雲の如く



医療法人 誠志会
砥部病院
TOBE HOSPITAL

〒791-2114 愛媛県伊予郡砥部町麻生40-1 TEL089-957-5511

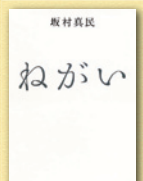
坂村真民記念館
所蔵の作品を満載!



定価=本体3500円+税

筆の詩墨の花

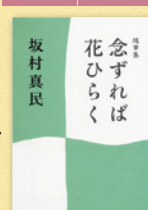
サンマーク出版



随筆集 念ずれば花ひらく
随筆集 めぐりあいのふしぎ
随筆集 愛の道しるべ

定価=本体各1800円+税

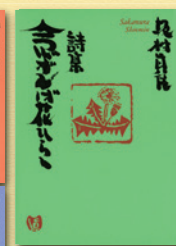
坂村真民の本



詩集 二度とない人生だから
詩集 宇宙のまなざし



定価=本体各1000円+税



刊行後16年で
9.8万部の
超ロングセラー!

詩集 念ずれば花ひらく

サンマーク出版

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-16-11 <http://www.sunmark.co.jp>
TEL 03 (5272) 3166 FAX 03 (5272) 3167

いま届けたい、生き方の道しるべ

医療法人 徳真会グループ

時代先駆の歯科医療グループを目指して

スコットランド
Oak Tree Dental Centre.
WORLD LAB Scotland

香港
Dental Implant & Maxillofacial Centre
WORLD LAB Hong Kong

シンガポール
TP Dental
Surgeons Pte Ltd

オーストラリア
WORLD LAB Australia

CANADA
WORLD LAB Canada

U.S.A
WORLD LAB U.S.A

ハワイ
WORLD LAB Hawaii

中国
《上海》
上海徳真会口腔診所
上海徳誠会口腔門診
上海浦東新区徳清会口腔門診
上海浦東新区徳申会口腔診所
上海徳心会格維診所
上海インプラントセンター
(株)ゼネラルスタッフ 上海本部
(株)ワールドラボ 上海

《蘇州》
蘇州徳真会口腔診所
蘇州高新区徳盛会口腔診所

《無錫》
無錫徳真会口腔診所

《廈門》
廈門徳真会歯科センター

新潟
新潟 松村歯科
新潟 まつむら歯科
新潟 おぎかわ歯科
水原 まつむらデンタルクリニック
津川 まつむらデンタルクリニック
関川 松村歯科
巻 しらとり歯科
長岡 松村歯科
長岡 まつむら第二歯科
柏崎 まつむら歯科
高田 まつむら歯科
上越 まつむら歯科
(株)ゼネラルスタッフ
(株)ワールドラボ新潟センター

東京
立川 まつむら歯科
駒込 まつむら歯科
目黒 USTINY DENTAL
稲城 わがば台デンタルクリニック
自由が丘 眞坂歯科医院
(株)ゼネラルスタッフ
(株)ワールドラボ東京センター

宮城
名取 名取デンタルクリニック
青葉 青葉デンタルクリニック
利府 利府デンタルクリニック
いずみ いずみデンタルクリニック
石巻 石巻デンタルクリニック
(株)ゼネラルスタッフ
(株)ワールドラボ仙台センター

大阪
みのお みのおデンタルクリニック
江坂 江坂歯科
江坂 江坂第二歯科
(株)ゼネラルスタッフ
(株)ワールドラボ大阪センター

福岡
博多 はかた中央歯科

新渡
松村歯科 新潟診療所
まつむら歯科 新潟診療所
おぎかわ歯科
まつむらデンタルクリニック 水原診療所
まつむらデンタルクリニック 津川診療所
松村歯科 関川診療所
しらとり歯科
松村歯科 長岡診療所
まつむら第二歯科 (長岡市)
まつむら歯科 柏崎診療所
まつむら歯科 高田診療所
まつむら歯科 上越診療所

☎025-201-1885
☎0250-24-6688
☎0250-23-4880
☎0250-62-2151
☎0254-92-0150
☎0254-64-1201
☎0256-72-1771
☎0258-28-4108
☎0258-31-7202
☎0257-20-0310
☎025-521-6780
☎025-522-6001

宮城
いずみデンタルクリニック
青葉デンタルクリニック
青葉第二歯科
利府デンタルクリニック
名取デンタルクリニック
石巻デンタルクリニック

☎022-253-1588
☎022-348-2125
☎022-348-1085
☎022-766-4130
☎022-381-0921
☎0225-25-5088

大阪
江坂歯科
江坂第二歯科
みのおデンタルクリニック

☎06-6386-0233
☎06-6310-7660
☎072-749-2080

東京
まつむら歯科 駒込診療所
まつむら歯科 立川診療所
USTINY (アスティーニ)
わがば台デンタルクリニック

☎03-3949-8818
☎042-538-1088
☎03-6431-8633
☎042-350-5671

福岡
はかた中央歯科

☎092-892-5134

中国
廈門徳真会歯科センター
上海徳真会口腔診所
上海徳誠会口腔門診
上海浦東新区徳清会口腔門診
上海浦東新区徳申会口腔診所
上海徳心会格維診所

☎86-592-2290088
☎86-21-5208-0208
☎86-21-6340-0290
☎86-21-5030-7858
☎86-21-6856-1040
☎86-21-3366-6129

株式会社ゼネラルスタッフ
本 社 025-201-1183
新潟本部 0250-25-2016
東京本部 03-6431-9809
大阪本部 06-6310-6066
上海本部 86-21-6340-0316

株式会社ワールド・ラボ
新潟センター ☎0250-23-2009
大阪大阪センター ☎06-6190-2660
仙台センター ☎022-348-1206
東京センター ☎03-6431-9239
WORLD LAB U.S.A ☎1-949-727-0121
Ultimate Styles Dental Laboratory ☎1-949-727-0822
徳真会歯科制作上海有限公司 ☎86-21-5270-1325



医療法人
徳真会グループ
www.tokushinkai.or.jp

坂村真民記念館友の会 会員募集中

坂村真民記念館友の会は、会員の皆様と記念館との交流を図り、記念館を共に支え、育てていくことを目的とした会です。入会された方には会報と、真民グッズなどの記念品を贈呈します。

パスポート会員 年会費2000円	特典 会員証で入館無料1人 ほか
一般会員 年会費5000円	特典 会員証で入館無料1人 ほか
特別会員 年会費10,000円	特典 会員証で入館無料2人 ほか
法人会員 年会費10,000円	特典 会員証で入館無料2人、 観覧券10枚贈呈 ほか

詳しくはホームページをご覧ください [坂村真民記念館 友の会](#) [検索](#)

〈編集後記〉 早いもので開館2周年となり、特別企画展「小池邦夫と坂村真民展」を3月11日から6月1日まで開催します。また、東京の相田みつを美術館でも「坂村真民展」が3月4日から6月8日まで開催されます。この半年間は、休日返上でこの二つの展示会の準備に全力投球してきました。自信を持ってお勧め出来る内容ですので、是非お知り合いの方をお誘い合わせのうえ、東京にも低部にもお出かけ下さい。(西)

タンポポだより vol.8 春号

平成26年3月1日発行 表紙写真：西澤孝一

発行元／坂村真民記念館友の会事務局

〒791-2132 伊予郡砥部町大南705 坂村真民記念館内

TEL089-969-3643 FAX089-969-3644

〔坂村真民記念館〕

開館時間／9～17時(入館は16時30分まで)

休館日／月曜(月曜が祝日の場合は翌日)、12月29日～1月1日

入館料／65歳以上300円、一般400円、高校生・大学生300円、

小・中学生200円 ※15人以上の団体は割引あり

※「小池邦夫と坂村真民の世界」展は入館料一般 当日券700円(前売券550円)